

令和6年度事業計画

1 事業・運営の方針

本県水産業を振興していくため、県と連携して栽培漁業関連業務をはじめ各事業を確実かつ効率的に実施する。さらに、水産業を取り巻く情勢の変化を踏まえ、新たな取り組みに向けた検討・準備を進めるなど業務の改善・改革を推進していく。

(1) 業務関係

◆ 栽培漁業関連業務

水産資源の維持増大を図るため、県の「栽培漁業基本計画」等に基づき、アワビ、ヒラメ、マダイ、マコガレイ、クルマエビ、ノリ等の種苗生産・放流事業を着実に、効率的に実施する。特にアワビ生産に関しては不調が続いていることから、生産の回復に向けて県と連携しながら最大限、取り組む。

さらに漁場環境の変化等により厳しさを増す東京湾漁業対策として、漁場調査やミルガイ等の種苗生産試験など幅広く取り組んでいく。

◆ 水産業の経営安定対策業務

効率的かつ安定的な漁業経営体を育成するため経営改善指導事業を実施するとともに、漁協の経営改善や体制強化に向けた取組を支援する。

また、漁船漁業の経営対策の強化、漁業の担い手対策などについて県と連携しながら取組内容の検討・準備を進める。

(2) 組織運営体制

◆ 役員（理事・監事）・評議員の改選

令和6年度に役員及び評議員が任期満了となることから改選を行う。なお、理事については理事会開催を機動的・効果的に行えるよう人数・構成を見直す。

◆ 組織の再編

業務の拡充に向けた検討を行っていくため、事業課内に準備室を設置する。

また、アワビ種苗生産を強化するため、専門ポストを設けて高度な専門知識・豊富な経験を有する者を配置するとともに、令和5年度に試行した事業所間での業務の応援体制を本年度も必要に応じて実施する。

◆ 職員関係

将来を担う人材の確保を図る観点から、若手職員に対する手当の新設や給与体系の見直し、年度雇用職員から嘱託職員への登用を進める。また水産系高校に対して公社への就業を促す働きかけを強化していく。

令和5年度に試行した管理職職員への勤務評価制度を本年度から本格導入する。

2 事業内容

栽培漁業の推進及び水産業の経営の安定に資する次の事業に取り組む。

栽培漁業関連業務のうち（１）（２）（３）及び（７）に記載のアワビ、ヒラメ、マダイ、クルマエビの各種苗の生産・育成尾数については、県の「水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本計画」における令和6年度実施計画との整合を図り、当社の生産計画数量を定める。

なお、県が実施する水産総合研究センター再編整備に伴う施設改修工事の状況により業務内容が変わる場合は、必要に応じて、理事会の承認を得ることとする。

（１）アワビ種苗生産育成事業（受託事業）

県から委託を受け、白浜事業所及び同事業所千倉支所においてアワビ種苗を生産育成し、関係漁業協同組合に配付する。

生産・配付個数	80万個（殻長25mm）＋「可能な限りの増産を目指す」
---------	-----------------------------

（２）ヒラメ種苗中間育成事業（補助事業）

放流効果を高めるため、県が生産したヒラメ種苗を大きく育てる中間育成を、富津事業所小久保支所、勝浦事業所及び白浜事業所において実施し、関係漁業協同組合と協力して放流する。

育成尾数	受入尾数 135万尾（全長30mm） ⇒ 放流尾数 94万尾（全長80mm）
------	---

（３）マダイ種苗中間育成事業（補助事業）

放流効果を高めるため、県が生産したマダイ種苗を大きく育てる中間育成を、地域栽培漁業推進協議会への委託等により養殖場や漁港内に設置した生簀等で実施し、関係漁業協同組合と協力して放流する。

育成尾数	受入尾数 135万尾（全長30mm） ⇒ 放流尾数 100万尾（全長60mm）
------	--

（４）種苗生産飼育事業（受託事業）

県から委託を受け、水産総合研究センター種苗生産研究所及び内水面水産研究所において種苗生産飼育業務等を実施する。

なお、富津生産開発室は、下半期から施設の改修工事が計画されているため、マコガレイの生産業務は休止予定。

○種苗生産研究所（勝浦生産開発室）：マダイ・アユ
○種苗生産研究所（富津生産開発室）：ヒラメ・トラフグ(試験放流魚の飼育)・マコガレイ（前年度からの繰越し飼育分のみ）
○内水面水産研究所：アユ（親魚及び中間育成）・ホンモロコ（親魚養成及び種卵の生産）

(5) 栽培漁業普及推進事業

栽培漁業及び資源管理に関する啓発活動を実施するとともに、地域協議会と連携して小中学生の放流体験及び勉強会等を実施する。

(6) ノリ養殖振興対策事業

① ノリ種苗生産配付事業（補助・助成事業）

富津事業所において、良質なノリ養殖種苗及び青混ぜノリの製造に用いるアオノリ母藻を生産し、関係漁業協同組合等に配付する。

※ 生産者のニーズに沿って、地域に適合した品種や、県が開発した高水温耐性品種「ちばの輝き」及び色調の優れた新品種「CTBFL-P241」の生産を行い、利用を促進する。

生産・配付数量	ノリ カキ殻糸状体（完製品）	138,600枚
	カキ殻糸状体（準完製品・半製品）	受注生産
	フリー糸状体	受注生産
	アオノリ母藻	6kg

② ノリ養殖情報提供事業（助成事業）

ノリ養殖の管理に必要な潮位情報等の解析・提供を関係機関と連携して実施する。

③ 健全種網作製推進事業（助成事業）

技術指導・調査等の実施により、関係漁業協同組合に組織されている「健全種網作製推進協議会」の活動を通じて、健全種網の作製を推進する。

④ 養殖種苗緊急確保事業（助成事業）

災害・事故等により種網等に被害を受けたノリ養殖業者に対し、あらかじめ登録確保した種網を速やかに供給する体制を維持運用する。

⑤ 藻類種苗生産配付事業

富津事業所においてワカメ、ヒロメ等の種苗を生産し、関係漁業協同組合及び高等学校に配付する。

生産・配付数量	ワカメ・ヒロメ種苗（種糸）	3,000m
	その他藻類	要望に応じて生産

(7) クルマエビ種苗生産配付事業（補助事業）

富津事業所新富支所においてクルマエビ種苗を生産し、東京湾地域栽培漁業推進協議会に配付する。

生産・配付尾数	600万尾（体長30mm）
---------	---------------

(8) 調査研究事業

① 下水処理場等放流水影響調査事業（受託事業）

君津富津広域下水道組合から委託を受け、下水処理場放流水が漁場に及ぼす影響等について調査を実施する。

② ミルクイ種苗生産試験事業（受託事業）

富津漁業協同組合から委託を受け、ミルクイの種苗生産試験を実施する。

③ ナミガイ種苗生産試験事業（受託事業）

千葉県漁業協同組合連合会から委託を受け、ナミガイの種苗生産試験を実施する。

④ ハマグリ中間育成事業化試験補助業務（受託事業）

千葉県漁業協同組合連合会から委託を受け、ハマグリ種苗中間育成試験の補助業務を実施する。（前年度繰越事業分のみ）

(9) 漁船漁業経営改善指導事業（補助事業）

効率的かつ安定的な漁業経営体を育成するため、千葉県地域漁船漁業改革推進集中プロジェクトを運営する。

中小漁業経営支援協議会を運営し、経営の改善を図ろうとする漁業者を支援する。

(10) 水産業経営安定促進事業

① 漁協経営安定化対策事業

組織・事業の再編等に取り組む漁業協同組合に対して東日本信用漁業協同組合連合会が行う融資にかかる利子の一部を助成するとともに、漁業協同組合等が行う人材育成・確保の取組等に対して助成を行う。

② 漁業経営安定化対策事業

漁業生産活動に必要な漁船、漁具等のリース事業に取り組む事業体に対する管理費への助成を行う。

③ 特別振興事業

水産業協同組合又は水産関係団体が実施する事業で、水産業の経営の安定に資すると認められる事業に対し助成する。

④ その他水産業の経営安定に関する事業

漁船漁業の経営対策の強化や漁業の担い手対策などについて、推進体制や事業内容など具体的な検討を進める。